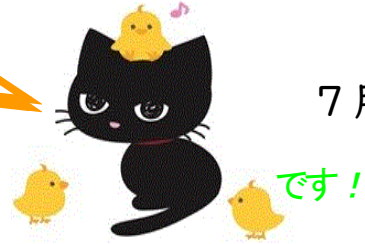




図書館だより



7月号

です!

「数学の世界から読書の世界への誘い」

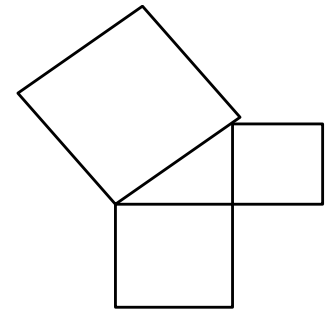


数学科 川崎 健朗

昨年12月の『アメトーク!』(テレビ朝日系)で、「本屋で読書芸人」と題した企画が放送された。同企画に登場したのは、メイプル超合金・カズレーザーなど読書家の芸人たち。各々のおススメ本を紹介していった。年に本を500冊購入しているという芸能界屈指の読書家であるカズレーザーは、他の芸人が小説を取り上げる中で、数学の本『解きたくなる数学』(佐藤雅彦著・岩波書店)を紹介していた。

カズレーザーは「なぜ我々は数学を学んできたのかが直感的に分かる本」と熱弁。魅力を伝えるため、同書に収録されている問題を例に出す。正方形の大きなチョコ1枚に対し、正方形の中くらいのチョコと小さなチョコ2枚なら、どちらをもらう方が得かという問題である。出演者は口を揃えて「2枚が得」と解答するが、実は大1枚をもらった方が得。中チョコと小チョコを直角に並べ、大チョコが斜辺にピッタリハマれば、ピタゴラスの定理により、同じということになるが、大チョコが少しはみ出るのだ。

この『解きたくなる数学』、伊高図書館だより6月号に新着図書として紹介されている。おススメだ。あと、最近気になっている本の一つに『円周率1,000,000桁表』(暗黒通信団)がある。無限に続く円周率 π を延々と記しただけの本で、密かなロングセラー。今度、伊高にも入ってくるようだ。楽しみだ。



この本読んでみませんか

「幸福な食卓」

瀬尾 まいこ 著

皆さんは、守られている実感がありますか。そのような実感が無い人が多いのではないのでしょうか。この本の主人公である佐和子も同じく守られている実感が無いまま、日々を幸福に過ごしている一人です。しかし、佐和子の気付かない所で家族や友人そして大切な人からの愛で守られているのです。



佐和子の家庭は少し複雑で本当に愛で守られているのか疑問に思うことでしょう。ところが最後まで読み進めるとその誤解はすっかり解け、普通であることだけが愛ではないと気付けると思います。

中学生から高校生になるまでの間に、何度も壁にぶつかり、その度に周囲に助けられながら少しずつも確実に成長し、その中で自分の回りには大切なものがあって、ちゃんと繋がっているということに気付きます。あなたも、佐和子と共に色々な愛に触れ大切なことに気付いてみませんか。

2年3組 植村 文香

短歌へのお誘い

七たまつりに海開き。夏休みに入ったりと楽しみが多い月です。外で遊ぶことが少なかった昔は、どんなことを詠んだのでしょうか

「夕立の 雲間の日かげ はれそめて

山のこなたを わたる白鷺」

藤原定家(ふじわらのていか)



【意味】夏の「夕立」が止んだ後は空気が山の木々も洗い流されて、そのくっきりとした色彩の中を白い鷺が飛んでいく情景はホッとため息が出そう



新着図書



「わたしは『セロ弾きのゴーシュ』中村哲が本当に伝えたかったこと」
中村 哲 著

25キロの用水路を拓き65万人の命をつないだ医師は何を語ったのか。

2019年12月4日、アフガニスタンで銃撃され亡くなられた医師・中村哲さん。

ハンセン病根絶計画から、空爆下の診療所開設と水源確保事業、そして用水路開通まで。「長年の活動の原動力は何でしょうか？」という問いに対して、中村さんは自らを宮沢賢治の童話の主人公「セロ弾きのゴーシュ」にたとえました。自身について多くを語らなかつた中村哲のさん心の内を知ることのできる記録。



中村哲が本当に伝えたかったこと

「死神と天使の円舞曲」知念 実希人 著

黒猫のクロは、今まさに自殺しようとする料理人に会う。彼は婚約者に拒絶され、さらにその彼女を喪い、絶望の淵に追い詰められたのだ。一方そのころ、ゴールドンレトリバーのレオもまた、「未練」を解決しようとして動き出した。「人魂」の噂が飛び交い、不審火事件が続く街で、一体何が起きているのか。すべての謎が一つに繋がったとき、ピンチが2匹に迫っていた。『我が主様』の命により、動物の姿を借りて地上に降り立ったレオとクロ。「死神」「天使」。「生と死」、心震わせるミステリー。



「だん

「14歳からの個人主義 自分を見失わずに生きるための思想と哲学」
丸山 俊一 著

誰かのマネでは幸せになれない。他人に嫌われたくない一心でつい『人真似』をしてしまうことがクセになってしまうと、大事な決断をしないといけない時にも、そこから逃げるような心の傾向が染みついてしまいます。

『人真似』は一見楽です。でも、それを繰り返しているうちに大事な『自分』を失ってしまいます。

夏目漱石、モンテニユ、フロム、西田幾多郎…。世界の知性とともに。



自分を見失わずに生きるための思想と哲学

まり、つぶやき、語らい」
鷺田 清一 著

だんまり・つぶやき・語らいの三つの層で考えてみるというお話に入ろうと思います。

最初にひとつだけ質問させてください。みんな、ことばって好きですか？好きなひと、ちょっと手を挙げてくれます？嫌いなひとは？

あら……。そうか、どちらでもないひとが圧倒的に多いみたいですね。

コロナ禍の中、愛知県立一宮高校の生徒にむけておこなわれた語りかけの講話です。



「10代で知っておきたい『同意』の話」
ジャスティン・ハンコック 著

「NOじゃなければYESってこと？」「相手の本音をどうしたらうまく聞けるかな？」「いつも人の顔色を気にしちゃうんだ…。誰かといっしょに何かをする。初めて会った人と挨拶をする。考えたこともなかったけれど、私たちは朝から晩までとてもたくさんの選択をしている。誰かの心の声は、あなたにしっかり届いていますか？

挨拶、食事、集団での行動…性的同意に限らず、私たちに欠かせない「同意」を身近な親しみやすい例で紐解きます。



「伊賀の人・松尾芭蕉」北村 純一 著

生涯の大半を旅に費やした芭蕉。しかし、生まれ育った伊賀に頻りに帰るなど、心の拠り所は常に故郷にあった。芭蕉はいかにして『俳聖』となり、俳句という文学で何を成し遂げようとしたのか。人間芭蕉の旅の軌跡と素顔を紐解きます。

忍者の里から江戸へ。忘れなかった『武士の品格』。美食家・月オタク・大ヤマ師。俳聖『芭蕉』誕生の秘密が明かされます。



「マスカレード・ゲーム」東野 圭吾 著

共通点はその殺害方法と、被害者はみな過去に人を死なせた者であることだった。捜査を進めると、その被害者たちを憎む過去の事件における遺族らが、ホテル・コルテシア東京に宿泊することが判明。警部となった新田浩介は複雑な思いを抱えながら再び潜入捜査を開始する――。シリーズ、総決算！



「剣持麗子のワンナイト推理」新川 帆立 著

弁護士・剣持麗子は今夜も徹夜で謎解き――

亡くなった町弁のクライアントを引き継ぐことになってしまった剣持麗子。都内の大手法律事務所で忙しく働くかたわら、業務の合間(主に深夜)に一般民事の相談にも乗る羽目になり……。

